

旭川市スポーツ推進計画(案)に対して寄せられた御意見と旭川市の考え方

○ 募集期間: 令和4年11月21日～令和4年12月23日

○ 意見提出者: 45件(個人7人35件, 2団体10件)

御意見については、一部読みやすくするため修正等を行っています。また、個人情報や誹謗中傷の表現は削除する場合があります。

No.	御意見の要旨	市の考え方
1	江丹別町は少子高齢化の人口減少により過疎化が進んでいる。江丹別町の活性化のため、建物が老朽化しているリアルター夢りんご体育館を、江丹別町に新築移設すべき。	旭川市リアルター夢りんご体育館については、現時点で江丹別町への移設は検討しておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
2	もうすぐ留萌は鉄道が廃線により無くなって海水浴場に行くのが本当に不便になる。中心市街地活性化として、市民にサップボード、遊泳、キャンプを楽しませるために、あさひかわ北彩都ガーデンに炊事場、トイレ、シャワー、人工ビーチを設置し、鏡池を廃止して「北彩都ガーデンビーチ」を開設してほしい。	あさひかわ北彩都ガーデンについては、人工ビーチ等の設置は難しいと考えておりますが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
3	近文市民ふれあいセンターは温水プールなどの設備が老朽化しており、コスト、大規模修繕工事費の負担が大きく、厳しい市の財政状況により維持管理が難しく、レストランとトレーニングルームが無く、路線バスがなくて本当に不便。最近の市民プールは利用者の減少や施設老朽化により廃止が増えてきて、障害者福祉センター「おびった」の温水プール、美瑛町白金温泉のホテルにあるプール、深川市温水プール「ア・エール」、星野リゾートマムのプール、手稲プールに市民の客足を奪われている。 神居古潭は少子高齢化の人口減少により過疎化が進んでおり、活性化させるために、旧神居古潭小・中学校の廃校舎を取り壊して、跡地に近文市民ふれあいセンターを移転して、プールの営業を終了し、レストラン、トレーニングルーム、露天風呂、大浴場を設置して欲しい。	近文市民ふれあいセンターについては、現時点で移転は検討しておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。なお、旭川駅周辺から乗車できるバスには、近文市民ふれあいセンター近くのバス停に停車するものもありますので、ご利用ください。
4	公園内にあるプールはコロナ禍や少子高齢化の人口減少により利用者が激減し、これ以上利用者が激減してる公園内のプールをそのままにしておく赤字になるし、プール施設は老朽化しているが、コスト、大規模修繕工事費の負担が大きく、厳しい市の財政状況により維持管理が難しい。花咲・千代の山・新富プールを廃止して、中心市街地活性化のために常磐公園の市営プールに統合すべき。	花咲スポーツ公園、千代の山公園、新富公園に設置しているプールについては、現時点で常磐公園のプールへの統合は検討しておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
5	カムイスキーリンクスは少子高齢化の人口減少により利用客が減少し、リフト、ゴンドラの設備や休憩施設が老朽化により古くなってきて、コスト、改修工事費の負担が大きくて厳しい市の財政状況により維持管理が難しく、近年は比布スキー場、キャンモアスキー場、富良野スキー場に市民の客足を奪われている。最近の若者はスキー場にあんまり行かないし、少子化によりスキー人口が減少している。カムイスキーリンクスのリフト、ゴンドラ、休憩施設を撤去し、営業を終了して閉鎖すべき。	カムイスキーリンクスについては、現時点で閉鎖の検討はしておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	御意見の要旨	市の考え方
6	近年の中心市街地は少子高齢化の人口減少により利用者が減少している。プールの無い富沢・旭川第一・旭川第五小学校の各小学校の水泳学習は、他の小学校のプールではなく、中心市街地活性化により常盤公園のプール、障害者福祉センター「おびった」の温水プールに行かせるべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
7	留萌市は過疎化により路線バスの本数が少なく、もうすぐ留萌市は廃線により鉄道が無くなり本当に不便になる。市民には都市間バスや特急列車に乗って石狩市、小樽市、余市町など札幌圏の海水浴場へ行かせて遊泳やサップボードを楽しませたいから、何とかして欲しい。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
8	近年の買物公園や中心市街地は少子高齢化の人口減少やコロナ禍、車社会の増加により利用者の激減と空洞化が進んでいる。リアルターりんご体育館の施設が老朽化しているので、中心市街地活性化のためにスポーツ協会を買物公園のビルに移転させるべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
9	公園内にある体育館はコロナ禍や少子高齢化の人口減少により入館者が減少している。東豊体育館の施設が老朽化し、近年は厳しい市の財政状況が続いているので、東豊公園体育館を閉館して忠和公園体育館へ統合させるべき。	東豊公園体育館については、現時点で閉館の検討はしていませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
10	近年は東光スポーツ公園基本計画が進んでいて、今後は東光スポーツ公園に体育館を設置する予定がある。東地区体育センターの施設が老朽化しており、豊岡地区では体育室が狭いため、東光スポーツ公園基本計画により東地区体育センターを東光スポーツ公園に新築移転させるべき。	東地区体育センターについては、現時点で東光スポーツ公園に新築移転することは検討していませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
11	近年のプールはコロナ禍や少子高齢化の人口減少により利用者が激減と監視員不足が続いており、老朽化や利用者の減少により廃止がとて増え、コスト、大規模修繕工事費の負担が大きく、厳しい市の財政状況により維持管理が難しい。そのため花咲スポーツ公園は再開発によりプールを取り壊して、自衛隊の航空機の展示、遊具のローラーすべり台、フリーフォール型すべり台を設置させるべきなので、公認プールを設置するのはとても困る。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
12	近年のスキー場は少子高齢化の人口減少により利用客が減少しており、最近の神居地区は少子高齢化の人口減少により過疎化が進んでいる。伊ノ沢市民スキー場の施設が老朽化しており、リフトが故障し、改修工事費の負担が大きく、資金等の関係によりスキー経営が難しく、市の厳しい財政状況により維持管理が難しいため、伊ノ沢市民スキー場のロープリフト、休憩施設を撤去して閉鎖すべき。	伊ノ沢市民スキー場は、現時点で施設の撤去等は検討していませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
13	旭川市は流水プール、ウォーター 슬라이ダーなどレジャープールが無く、特急列車でレジャープールのある深川市温水プール「ア・エール」に行き遊泳を楽しんできた。市民には深川市温水プール「ア・エール」へ行かせて遊泳を楽しませたいので、何とかして欲しい。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
14	廃校後の旧千代ヶ岡小学校跡地にはグラウンド、体育館、プールがあり、スポーツ合宿に便利。今後のプールは市民だけではなく観光客にも遊泳を楽しませたい。そのため、旧千代ヶ岡小学校跡地の廃校舎、グラウンド、体育館、プールを株式会社旭川振興公社に売却して、廃校舎に売店、食堂、大浴場、客室を、敷地内にバーベキューハウス、炊事場を設置し、体育館、プール、グラウンドがある充実した宿泊施設を目指して欲しい。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。

No.	御意見の要旨	市の考え方
15	近年の海水浴場は少子化により若者の海水浴客が減少しており、海水浴場をそのままにしておくのはとても困る。忠和・東光・旭川・西神楽中学校など各中学校による次回の宿泊研修は、夏の7月に海水浴場など留萌方面へ行かせて遊泳を楽しませるべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
16	最近、北海道の中学校による修学旅行は東京方面がとても増えてきている。北星・広陵・神居・永山中学校など各中学校による次回の修学旅行は、道南のルスツ、函館方面ではなく、東京都あきる野市にあるレジャープールで遊泳を楽しませるために東京方面へ2泊3日で行くようにして欲しい。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
17	旭川北・西・南・永嶺・商業高等学校の次回の宿泊研修は、美瑛町にある国立大雪青少年交流の家に行かせるのではなく、深川市にある北海道立青少年体験活動支援施設(ネイバル深川)とレジャープールのある深川市温水プール「ア・エール」に行かせて遊泳を楽しませるべき。	御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
18	近年の海水浴場は少子化により若者の海水浴客が減少しており、海水浴場をそのままにしておくのはとても困る。旭川北・南・永嶺・農業高等学校など各高等学校の次回の修学旅行は、関西方面ではなく沖縄方面へ行かせて、3泊4日でマリンスポーツやビーチで遊泳を楽しませるべき。	御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
19	最近、公園内にあるプールは少子高齢化の人口減少やコロナ禍により利用者が激減し、プール施設が老朽化しており、コスト、大規模修繕工事費が非常に高すぎて厳しい市の財政状況により維持管理が難しいため、民間に売却して株式会社旭川振興公社で運営させるべき。	公園内に設置しているプールについては、現時点で民間への売却は検討しておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
20	花咲スポーツ公園は遊具が設置されていないので困る。公園内にあるプールはコロナ禍や少子高齢化の人口減少により利用者が激減と監視員不足が続いており、老朽化や利用者の減少により廃止がとても増えており、コスト、工事費、監視員の人件費の負担が大きくて、厳しい市の財政状況により維持管理が難しい。公園内のプールを廃止して、自衛隊の航空機の展示、遊具のローラーすべり台、フリーフォール型すべり台を設置させるべきなので、公認プールを設置するのはとても困る。	花咲スポーツ公園に設置しているプールについては、現時点で廃止の検討はしておりませんが、御意見の内容については今後の取組の参考とさせていただきます。
21	近年の海水浴場は少子化により利用者が減少しており、若者の海水浴客が減少している海水浴場をそのままにしておくのはとても困る。北海道教育大学附属旭川中学校の次回の修学旅行は、3泊4日で沖縄方面へ行かせて、ビーチでマリンスポーツや遊泳を楽しませるべき。	御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
22	プールや海水浴場で男性の上半身の裸を見るのは恥ずかしくて迷惑で嫌なので、上半身にラッシュガードなど水陸両用のウェアを着せて泳がせるべき。	プールについては、各施設の管理者が、施設の状況に応じて利用方法、利用に当たっての注意事項を定めておりますが、男性のラッシュガードの着用については任意であり、今後義務化をすることは検討していません。
23	旭川にレジャープールが無いのはとても困るし、今後のプールは市民だけではなく観光客にも泳いで遊泳を楽しませたい。中心市街地活性化のため、8条通16丁目の旧北都中学校跡地は民間に売却し、廃校舎、グラウンド、体育館を取り壊して、造波プール、ゴムボートを使用するウォータースライダー、冒険プールなどレジャープールのあるホテルを誘致すべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。

No.	御意見の要旨	市の考え方
24	現在の道の駅の施設は老朽化している。泳げない方は旅館のリゾートプールを利用することが多く、今後は市民と観光客に遊泳を楽しませたい。そのため、南ヶ丘の国道12号線沿いの旧北海道伝統工芸村跡地に道の駅を移転させ、フロント、客室、大浴場、プール、トレーニングルームが設置されたリゾートホテルの併設を誘致すべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
25	最近、北海道内の中学校の修学旅行は大阪や京都など関西方面がととも増えてきている。春光台・忠和・嵐山・北門・神楽・明星中学校など各中学校による次回の修学旅行は、道南の函館方面ではなく、関西方面に行かせて大阪府にある「鶴見緑地プール」でレジャープールでの遊泳を楽しませるべき。	御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
26	運動・スポーツに関する意識調査結果とする。スポーツ推進の代表的な指標でも有る「スポーツ実施率」に付いては、平成27年度の42.3%から49.3%と上昇している。スポーツ庁が令和3年度に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からは、コロナの影響に寄り、令和元年度末から児童生徒を取り巻く環境が一変した結果、全国的に子供の体力レベルの低下傾向が進む状況が明らかに成った。第2次旭川市スポーツ振興計画の評価に当たり、市民アンケートの結果や、スポーツ団体等からの推薦者や学識経験者等から成る「旭川市スポーツ推進審議会」での審議等を基に、施策の成果や課題を整理した。スポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進計画として策定する物。障害の有無に関わらずスポーツを楽しめる様、スポーツ施設のアクセシビリティの向上の調査及び整備。本市には、FIS公認のスキー場を始め、日本代表クラスが合宿するクロスカントリーコース、スケートリンク等トップレベルの競技にも対応出来る施設と世界にも誇れるパウダースノーが有る。東京オリンピック・パラリンピック等を契機に、スケートボード等のアーバンスポーツの人氣が高まっている他、自然を感じ乍ら気軽に楽しむ事の出来るサイクリング等のスポーツ活動も進められている。又、DXの進展等デジタル技術を活用したスポーツの振興も見込まれる。東京2020オリンピックで注目を集めたスケートボードを始めとした、BMXやインラインスケート等のアーバンスポーツは若者を中心に活動が進められており、体験会等イベントの実施等を通じて、新たなスポーツへの関わりを広げて行く。自然に親しみながら取り組む事の出来るサイクリングやボタリング等のアウトドアスポーツの普及を図る。年齢・性別・人種・障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツをし易い環境作りを目指す為、バリアフリー化、公平なサービス提供、ユニバーサルデザイン化等施設のアクセシビリティの向上を検討する。スポーツ団体ガバナンスコードの周知。本市においては、平成26年度にFISスノーボードワールドカップとIPCクロスカントリースキーの国際大会を開催した他、平成28年度以降、レスリング女子、柔道女子、車いすラグビーやパラクロスカントリースキー等の日本代表チームや、国内トップレベルの大学野球の合宿を誘致しており、今後、旭川市及び北海道が招致活動を行っている2030北海道・旭川オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えながら、スポーツ大会と合宿の更なる誘致活動を推進する。スポーツツーリズムの推進。(その他)旭川市内にも選手村と屋内カーリングの整備して欲しい。	御意見の内容につきましては、概ね本計画(案)と同様の内容であり、同意いただいたものと考えております。オリンピック・パラリンピックに関する御意見につきましては、札幌市が招致を行っている冬季オリンピック・パラリンピックに対する機運の盛り上がりや招致の動向を注視してまいります。また、屋内カーリング場の整備につきましては、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
27	(上記と同様の意見1件)	同上

No.	御意見の要旨	市の考え方
28	<p>落石で閉鎖中の旭川サイクリングロードの整備再開を要望します</p>	<p>旭川サイクリングロードにつきましては、平成22年に発生した落石事故以降、一部区間を通行止めとしており、地すべり等の調査や一部の対策工事を進めてまいりましたが、岩盤の変状が継続しているなど、対策工事の見通しが立たず、通行止区間の供用再開が困難な状況となっております。このため、現在う回ルートとして設定している旧国道及び国道12号の一部を正式な旭川サイクリングロードとしてルート変更するため、国との協議を進めているところですが、御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。</p>
29	<p>市の総合体育館とは別に屋内競技専用のアリーナ施設建設をお願いしたいです。旭川を拠点とするヴォレアス北海道はVリーグ男子division1を目指してリーグ戦を戦っていますが、現在の旭川市にある体育館では最大動員数が少なく、条件に足りる成績を残せたとしても、division1昇格のための資格そのものが得られない可能性があります。ですのて是非とも早急な建設に向けて前向きに考えて頂きたいと思い意見させて頂きました。</p> <p>ヴォレアス北海道の専用体育館としてだけでなく、レバンガ北海道や、エスポラーダ北海道など道内で活躍しているプロスポーツチームの誘致なども出来れば市内近郊の子供たちも気軽に観戦が出来、より多くのスポーツに関心をもつ機会も増えるのでは？と思います。試合のない期間には大雪アリーナの様に様々なイベントなどに活用出来るような施設だと尚良いと思います。</p> <p>北海道第3の都市旭川でアリーナ施設が大雪アリーナだけというのは正直寂しい気がします。莫大な費用のかかることなので簡単ではないとは思いますが、使い方次第で経済効果も充分見込めるのではないかとともに思います。いちスポーツ好きの意見ではありますが、ご検討よろしくお願ひいたします。</p>	<p>ヴォレアス北海道のホームゲーム開催支援については、Vリーグdivision1昇格に対応できるよう協議を行っています。また、東光スポーツ公園基本計画に基づく整備検討を進めるとともに、総合体育館の建替えや耐震化整備、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化、市民ニーズに対応した新たな施設整備について検討します。</p>
30	<p>東光スポーツ公園基本計画に基づく整備検討</p> <p>旭川市総合体育館の建替えと東光スポーツ公園の体育館建設を並行して行うことを期待します。現在、体育館を利用した大会等では、多くの団体が抽選を行い、調整を行っています。この規模の都市で、総合体育館が1つでは少なすぎ、新規の大会を開催しようにも、断念せざるをえない状況です。過去の財産も利用することにより、より大きなイベントの開催やより多くのスポーツイベントの開催が期待できます。</p>	<p>市内でスポーツを行う環境が十分に整っていないため、スポーツ環境の改善に向け、東光スポーツ公園基本計画に基づく整備検討を進めるとともに、総合体育館の建替えや耐震化整備、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化、市民ニーズに対応した新たな施設整備について検討します。</p>
31	<p>花咲スポーツ公園の再開発</p> <p>花咲球技場の人工芝化を要望します。現在、東光スポーツ公園球技場、忠和公園多目的広場、カムイの杜公園多目的運動広場において、夏期の期間は、毎週のように大会が開催されております。忠和公園多目的広場、カムイの杜公園多目的運動広場においては、天然芝グラウンドであり、芝の保護管理の観点からこれ以上使用頻度や時間を増やすことはできません。東光スポーツ公園球技場は、人工芝グラウンドであり、天候にあまり左右されずに、平日、夜間も含めて、多くの市民が利用しています。しかしながら、さらに多くの利用希望者が存在するにもかかわらず、現在それに対応することができていません。夜間照明も完備されている花咲球技場の人工芝化により、さらに多くの利用者を見込むことができるため、実現を求めます。</p>	<p>花咲スポーツ公園球技場については、冬期間はスケート場として利用していることもあり、現在、球技場の人工芝化とスケートリンク造成を両立する手法等について調査研究を行っているところですが、人工芝の上ではリンクの基礎となる圧雪路盤の造成が難しいなどの課題もあり、その解決には時間をかけた検討が必要です。御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	御意見の要旨	市の考え方
32	<p>スポーツ施設の利便性向上 ホームページ予約システムの機能向上や電子決済の導入 現在の予約システムは、複数の施設の同時閲覧ができないなど、不便なところがあり、機能向上を期待します。また、決済方法が現金だけであり、現地や窓口に行かないと支払いができない。減免等の関係で、支払いが後日になる場合は、もう一度現地や窓口に行かなければならないなど不便を強いられています。システムの機能向上や電子決済の導入がなされれば、利便性が増し、利用者の増加につながり、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるようになると考えられます。</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただきます。スポーツ施設が市民にとってより利用しやすい施設となるよう、施設使用時の申込手続等のデジタル化を推進します。</p>
33	<p>現在、夏場のサッカーや冬場のフットサルの試合を開催する際には、夏場は東光スポーツ公園や東川ゆめ公園、市内の小学校グラウンドが主な会場になります。冬場は市内の小学校が会場になることが大半となります。会場で使用できる小学校のグラウンドや体育館の使用の可否は主に学校側の判断に委ねられている中で、毎回使える学校がある反面、まったく不可能な学校もあります。主にその判断を取り仕切る教員の方(主に教頭先生だと思えます)の判断となり、同じ市内の中で子供たちのスポーツ環境に優劣が起こるのは非常に疑問であります。(実際に今年度同じ学校内の少年団が練習試合を自会場で行い、他の少年団は許可をもらうのに1か月以上かかるという事例がありました。)旭川市としてある程度のガイドラインが必要であると感じます。</p>	<p>学校施設スポーツ開放事業などの学校施設を活用したスポーツ活動については、学校や地域の実情に合わせた施設利用が行われています。御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただきます。教育委員会と連携しながら、学校施設スポーツ開放事業の利便性向上に向けた検討を進めます。</p>
34	<p>夏場のグラウンド使用状況において今年度調べた結果、設備的な問題で使用されていないグラウンドが結構多い状況も改善の余地があると思います。新しくと言うのは財政上の問題もあると思うので、既存のものを改修、もしくは設備向上を目指すべきだと思います。</p>	<p>市内でスポーツを行う環境が十分に整っていないため、スポーツ環境の改善に向け、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化、市民ニーズに対応した新たな施設整備、学校グラウンドを含めた既存施設の改修について検討します。</p>
35	<p>体育館の設備が非常に少ない事が挙げられます。学校開放はほぼ空きがない状況で新規は参入できない事や大きな体育館が少ないことで旭川と言う土地柄上、降雪期のスポーツ環境は著しく低下すると思います。財政上の問題はあるかと思いますが、早急に取り上げて頂く問題だと思えます。</p>	<p>市内でスポーツを行う環境が十分に整っていないため、スポーツ環境の改善に向け、東光スポーツ公園基本計画に基づく整備検討を進めるとともに、総合体育館の建替えや耐震化整備、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化、市民ニーズに対応した新たな施設整備について検討するほか、降雪期のスポーツ環境の充実に向けたウィンタースポーツの推進を図ります。</p>
36	<p>東光スポーツ公園の屋内体育館の早期の整備を進めてほしい。 1、現総合体育館の利用が極めて難しくなっており、周辺町の体育館に頼らざるを得ない(ただし、地元の行事優先から各種大会開催時期の調整も難しい) 2、スポーツ交流の推進から総合体育館でのプロスポーツの開催増により、更に土日の利用が難しくなり、スポーツ団体として大会の中止等に追い込まれる状況にある。</p>	<p>市内でスポーツを行う環境が十分に整っていないため、スポーツ環境の改善に向け、東光スポーツ公園基本計画に基づく整備検討を進めるとともに、総合体育館の建替えや耐震化整備、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化、市民ニーズに対応した新たな施設整備について検討します。</p>
37	<p>重点1-1(1)子どものスポーツ推進、(2)子育て世代・働く世代のスポーツ推進、(3)高齢者のスポーツ推進、重点1-2(1)気軽にスポーツに取り組める環境づくりに関して、市内におけるウィンタースポーツ施設の再構築(市内スキー場の役割の明確化)をすべき。 ①カムイスキーリンクス→競技・上級者主体 ②サンタプレゼントパーク→子供・初心者・高齢者 ③伊の沢スキー場→子供が雪に触れ合う遊び場</p>	<p>旭川市内には、市営のカムイスキーリンクスのほか、民営のサンタプレゼントパークと伊ノ沢スキー場の計3つのスキー場があり、コース本数や延長、斜度、標高差、ナイター営業の有無、中心市街地からの距離など、それぞれのスキー場で様々な特色があり、市民や観光客、競技者から親しまれています。御意見の内容については、関係者等と共有させていただき、今後の取組検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	御意見の要旨	市の考え方
38	<p>市内の障がい者に対し、特に障がいを持つ子供スキー授業の際には加盟団体の有志によるボランティアによって、市と連携を取りつつパイスキー(チェアスキー)を使用したスキー授業の支援活動を行っております。重点1-1(4)パラスポーツの推進に関して、パラスポーツに対する積極的な関与をすべき。</p> <p>①競技会への物的・金銭的な補助 ②障がい者スポーツ支援ボランティアの確保及び経費補助</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、障がい者が様々な形でスポーツに取り組む機会を提供するとともに、障がいの有無にかかわらず共に活動できるスポーツの実施や機会創出及び地域における環境づくりを支援します。</p>
39	<p>スキー競技の各大会の運営は選手からの参加料や、一部の大会は主催団体からの交付金で運営しております。従って参加者が少ない大会においては、参加料が少なくても決められたコースの準備や役員の確保をしなければならず、赤字開催となってしまう大会もあります。役員経費(役員日当)等の人件費は食事代と燃料代程度しか支払うことが出来ず、大会準備は16時以降からの作業、大会当日は朝の7時前から勤務してもらっているにもかかわらず、ボランティアレベルの経費しか支払われていないのが現状です。また、スキー連盟の会員数・加盟団体数は年々減少の一途をたどっており、平均年齢は増加する一方となっております。大会準備作業特にネット張りはコースを徒歩で上り下りして作業するため高齢者には厳しい作業となる反面、平日に作業を行う必要性があることから就業している者は参加が難しい状況となっております。大会当日は、早朝からゲレンデに出て勤務するため半日以上冬の野外に拘束されるため、体力と集中力が必要となります。以上のことから、各大会での役員確保が非常に厳しい状態となっております。現在、実施している大会のほかにもいくつかの大会開催要望が来ておりますが、運営困難な状況から断らざるを得ない状況になっております。</p> <p>重点1-2(2)健康づくりに向けた関係者との連携推進、重点3-1(7)スポーツ団体等の連携強化に関して、以下の事項を要望します。</p> <p>①関係者との定期的な会議の開催 ②スポーツ推進会議への各団体代表者、有識者の参加 ③旭川市スポーツ推進委員の大会役員への派遣 ④各スポーツ団体の事務機能の公的施設への集約</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、(公財)旭川市スポーツ協会とともに、スポーツ団体の課題やニーズの把握、スポーツ団体等の連携強化など、より良いスポーツ環境の構築について検討を進めます。</p>

No.	御意見の要旨	市の考え方
40	<p>アルペン競技が行われるカムイスキーリンクス白樺コースは、大会期間中以外は一般スキー客にも開放しております。同コースでポール練習をする場合にはコース上部を、ネットで一般スキーヤーが侵入しない様な処置をとってはありますが、必ずしも侵入してこないとは言えません。大会と大会との開催間隔が開いた場合には、ネット等を保守の都合上一度撤収する必要があり、侵入防止上及び、同じ作業を繰り返すという非効率的な作業を減らすためにも、スキー場でネットを設置して頂ければありがたい。</p> <p>また、富沢クロスカントリースキー競技場は駐車スペースが狭く、トイレの数も少ないため、大きな大会を開催する際にはトイレを増設したり、大会本部や選手の着替え用のプレハブの設置も必要なことから大会経費の圧迫の要因となっております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症のまん延以降、各大会の中止が相次ぎましたが、旭川のような都市型スノーリゾートは選手の滞在はほとんど市内のホテルとなっており、他の温泉地のスキー場と違って「個室化」された部屋での宿泊が主体となり、大部屋での宿泊とは違い集団感染を予防できる効果があります。また、近年「プライベートを重視」する選手が増加してきていることから時代に適合した環境となっております。しかしながら、ホテル内に「スキー置き場」「ワックスルーム」「ブーツ乾燥室」等の施設が無く設置を要望する意見があるのも事実です。</p> <p>また、現在、DMOが各スキー場へのアクセスについての検討・事業化を行っておりますが、カムイスキーリンクス以外へのウインタースポーツ施設へのアクセスについても検討する必要があると考えます。特にスキーヤーは自前の用具を持って移動する方が多く、特に競技選手は各大会会場をチームで転戦していることを考慮すると、「レンタカー」使用時における割引等、スキー場への2次交通手段の充実も考えていく必要があると思われれます。</p> <p>重点1-3(1)ウインタースポーツに取り組む環境の充実に関して、以下の事項を要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①カムイスキーリンクスの競技専用コースの常設による、合宿・競技会の誘致 ②富沢クロスカントリーコースの充実による合宿・競技会の誘致 ③宿泊施設のスキーヤー用設備の充実 ④スキー場への2次交通手段の確保 ⑤大会参加選手・チームへの宿泊施設の斡旋 ⑥準備を含む大会役員の増員(例:自衛隊への協力要請、旭川市スポーツ推進委員の派遣) 	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、(一社)大雪カムイミントラDMOとともにスポーツ施設の整備や利便性向上を進めていきます。</p>

No.	御意見の要旨	市の考え方
41	<p>アルペン・クロカンの大会を行うにあたっては「タイムの計測」という作業が必ず必要であり、そのためにはスキー競技専用の「計測機」の使用が必要不可欠となっております。この計測器はFIS・SAJが認定した器材でなければならず、特に1/100秒を争うアルペン競技においては毎年の「校正検査」も必要となります。併せて、タイムに基づいて順位や個人のポイントを計算する「リザルトソフト」も必要で、このソフトも数年に1度バージョンアップが必要となります。旭川スキー連盟では現在公認された計測器を1台保有しておりますが、計測器は必ず予備が必要で、大会の都度「東川振興公社」と「比布町」からそれぞれ借用しているのが現状です。また、旭川スキー連盟と比布町が保有している計測器はあと5年ほどで公認が切れ、新型の計測器を導入しなければ今後は大会の開催が出来なくなります。また、道内では唯一カムイスキーリンクスのみで行われているアルペンスキーの高速系競技は、選手の滑降スピードが時速約100キロに達するため選手の安全確保のためには「安全ネット」の設置が必要不可欠となり、これが不完全であるとFIS・SAJから派遣される技術代表(大会の運営に対しすべての権限と責任を有する責任者)の許可が下りず、大会が出来なくなります。高速系種目は滑走距離も長く、その距離は2km以上にもなります(左右両側だとネット所要は倍の4km)。旭川スキー連盟ではこのすべてのコースを補える分のネットを保有しておらず、毎年の大会経費から少しずつ購入して補充しているとともに、富良野スキー連盟から借用しているのが現状です。これら連盟が管理している野外用器資材についてはカムイスキーリンクスに設置させていただいている2つのゴールハウスの中に保管させていただいておりますが、このゴールハウスも老朽化が進み、毎年経費をかけて維持補修を行っております。計測器等の精密機械は安定した環境下での保管が望ましいことから、現在はサンタプレゼントパークのご厚意により、スキー場ロッジの一角をお借りしている状況です。ただし、大会の都度カムイスキーリンクスへ運送会社を使用して運んでいるため機械にはあまりいい影響を与えてはいないと考えます。併せて、スキー連盟事務局についてもサンタプレゼントパークスキー場ロッジの部屋を破格の価格でお借りしております。</p> <p>また、スノーボード、フリースタイル、ジャンプの3競技については、会場も確保されておらず旭川で大会が開催されていないため、若手選手の育成には市外の施設を利用させていただき練習をしています。特に、嵐山ジャンツェはジャンプ台の規格が現状の規格と合わず、スキー場の閉鎖と相まって現在は全く使われていない状況です。</p> <p>重点1-3(2)ウインタースポーツ施設の整備、重点2-1(1)スポーツ施設の老朽化対策、(2)スポーツ施設の整備推進に関して、以下の事項を要望します。</p> <p>①大会誘致・実施のための器資材の整備 ア タイム計測器、安全用ネット、スタート用テントの購入 イ 競技用資材庫、ゴールハウスの設置 ウ 富沢クロスカントリーコースのトイレ、プレハブの増設</p> <p>②大会開催が可能な規格に適合したジャンプ台の設置</p> <p>③同ハーフパイプ</p> <p>④富沢クロスカントリーコースの道路横断地点に対する処置</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、スポーツ施設の整備や利便性向上、市民ニーズに対応した新たな施設整備を進めていきます。</p>

No.	御意見の要旨	市の考え方
42	<p>北海道における「スキー発祥の地」である旭川において、その歴史を後世に伝えるとともに、広く市民の方々に知っていただくためスキー連盟及び市民の有志によって「旭川スキー資料保存会」を立ち上げ、2019年からスキー資料の収集・展示を行っております。資料については、市内のスキーにゆかりある方々をたよりにその収集にあっておりますが、皆高齢の方ばかりであるとともに、既に資料等を処分された方も数多くあり、早急な資料の収集・蓄積が必要となっております。また、資料の展示スペースについてもサンタプレゼントパークスキー場施設の一部をお借りしており、十分な広さ確保できないことに併せ、スキー場にも負担をおかけしている状況となっております。併せて、資料を展示できる期間がスキー場の営業期間のみであるとともにスキー場へ来る方へのみの展示となっております。また、旭川におけるスキー競技の現状としては、2022年には「全日本スキー選手権」の高速系種目がカムイスキーリンクスで開催されましたが、フィギュアスケートやジャンプ競技ほど国民の関心がなく、マスコミの露出もほとんどされない状況でした。</p> <p>重点2-3(1)スポーツに関する情報発信や相談機能の充実に関して、以下の事項を要望します。</p> <p>①北海道スキー発祥の地としてスキー遺産の後世への継承・スキー資料の展示エリアの設置</p> <p>②開催イベント・大会等のマスコミへの積極的な発信</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、スポーツに関する情報発信の充実を図ります。</p>
43	<p>旭川スキー連盟には、過去若しくは現在、全日本スキー連盟のナショナルチームのコーチを務めている方も在籍し要職に就いているなど、数多くの優秀な指導者が在籍しており、数多くの有力選手を育成し数多くの大会で好成績を収めています。</p> <p>重点3-3(1)競技力向上の支援、(2)国や道等との連携推進に関して、全国からの有能なスポーツ指導者の募集と就業先の斡旋を要望します。</p>	<p>御意見の内容については、取組検討の参考とさせていただき、引き続き選手への補助事業や顕彰授与等を行うとともに、国や北海道、プロスポーツ、オリンピック・パラリンピアン、市内各スポーツ団体との連携を推進しながら、競技力向上の支援や指導者の育成及び人材の確保を図ります。</p>
44	<p>重点4-1(1)合宿誘致の推進、(2)大会誘致の推進、(3)ナショナルトレーニングセンターの誘致検討に関して、以下の事項を要望します。</p> <p>①カムイスキーリンクスの競技専用コースの常設による、日本初のナショナルスキートレーニングセンターの誘致 ア コース付帯設備の整備(使用調整所・資材庫等) イ 人工降雪機の設置 ウ インジェクション(アイスバーン化)装置の導入 エ 競技用備品(ポール等)の充実</p> <p>②道央自動車道のカムイスキーリンクスI/Cの検討</p> <p>③JR富良野線の旭川空港引き込み</p>	<p>御意見の内容については、関係部局と共有させていただき、ナショナルトレーニングセンターの誘致検討を進めます。</p>
45	<p>過去には有力選手が旭川スキー連盟に所属しておりましたが、大学卒業後は地元で支援する企業が無く、マネジメントについても大手広告代理店が取り扱ったため、活動拠点を本州に移さざるを得なくなりました。重点4-4(4)プロスポーツチームやオリンピック・パラリンピアンとの連携推進に関して、個人で活動する選手に対する地元支援企業の獲得及び選手へのマネジメント態勢の構築を要望します。</p>	<p>御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただき、地元で活躍する競技者・競技団体への支援について検討します。</p>